



おかげさまで5周年

楽器の向こうに世界が見える。

音楽は世界共通語。耳から耳へ、心から心へ。
時代も国境も越えて、人と人を結んでいきます。

楽器は、それぞれの地域と時代に生きた人々の
智慧や感性を、私たちの目の前に鮮やかに映し
出してくれます。

楽器をたどって旅をするミュージアム、今誕生
です。

これは、浜松市楽器博物館のオープンを知らせる
ポスターのキャッチコピーです。あれからもう5
年、浜松市楽器博物館は今年4月、めでたく5周
年を迎えました。

「音楽のまちづくり」を進める浜松市にとって、
中心的な役割を期待されて平成7年（1995年）4
月8日に落成式を行ない、翌9日から一般にオー
プン。国内はもとより海外からも注目され、これま
でにおよそ48万人が訪れました。

オープン当時は日本とヨーロッパの楽器約600
点を展示。ガラスケースの無い展示と、楽器の音が
聞けるヘッドフォン装置、それに自由に楽器を演

奏できる体験コーナーの設置が話題を呼びました。

また同時開催のオープン記念特別展「竹の楽器・
ひょうたんの楽器」では、世界から竹やひょうたん
を素材に、人間が知恵と工夫を凝らした楽器約350
点を展示。地球上のさまざまな時代や地域の楽器を
収集し展示して人間の文化を考える博物館という将
来像が示されました。

翌年9月にはアジア・アフリカ展示室がオー
プンし、昨年12月にはパソコンで楽器検索や作曲が
できるコーナーも開設。今では所蔵楽器約1,800
点、展示楽器約1,000点という、世界的にも質量と
もに充実した楽器博物館に成長しました。

楽器博物館では毎日、展示してある鍵盤楽器のデ
モンストレーション演奏を行ったり、毎週日曜日には職
員が展示品の解説をする展示室ガイドツアー、第3
日曜日にはミニ講座やミニコンサートのミュージアム
サロンを行い、見学者に楽しく過ごしていただくため
の活動を展開しています。また、本年5月からは市
内小学校を巡回する移動楽器博物館も始まりました。

5歳になった浜松市楽器博物館は、生涯学習の場
として、さらには世に誇れる文化施設として、より
一層市民の皆様に愛され、親しまれ、支えられる博
物館を目指して活動していきます。

開館5周年記念事業

特別展

「楽器誕生！～日本の音の知恵と技～」

7月22日(土)～8月27日(日)

大人600円 高校生300円 小・中学生150円

琴、三味線、尺八、篠笛、鼓、大太鼓など、日本の楽器でありながら、さて、その作り方は?となると、案外知らないものですね。

そこで、そんな自国の楽器を再発見しようと、素材と加工方法、製作工程に着目した特別展を開催します。

竹、桐、桑、絹、紙、葦、革、漆……素材を生かし、素材の味を出す日本料理と同じ特徴が、楽器づくりにもあてはまります。

日本の楽器と音の誕生の秘密がわかる絶好の機会です。

●展示予定資料：総数約170点

楽器完成品／尺八、トンコリなど約25点

素材・製作途上資料／尺八用根付竹、桜皮、太鼓革張り模型など100点

写真・映像／風鈴製作工程、三味線製作工程など約45点

●連続お楽しみ講座

期間中の土・日曜日は講座や展示解説を行います。(詳細は特別展案内チラシをご覧ください)



写真展「楽器博物館のあゆみ」

5月1日(月)～12月28日(木) 地階展示室ロビー

楽器博物館の開館準備から現在までの出来事を写真で紹介しています。落成式当日、展示室内覧会でのイェルク・デムス氏によるフォルテ・ピアノ演奏や、秋篠宮殿下ご来館時のひとコマなど5年間の歴史を垣間見ることができます。

また、ヨーロッパの楽器博物館の紹介もシリーズで行っています。

ミュージアム コンサート

「きよらかに、さわやかに」

7月2日(日) 14:00

研修交流センター21音楽セミナー室

大人1,000円 学生500円(チケットは楽器博物館、アクトシティチケットセンターにて発売中)

出演：愛知県北設楽郡東栄町河内花祭保存会
ルシア塩満とロス・コンパニエーロス

日本の音楽と外国の音楽の2本柱で開催。浜松市制89周年記念事業でもあります。

日本からは三遠南信地域の民俗芸能である奥三河の東栄町(愛知県北設楽郡)河内花祭(国指定重要無形民俗文化財)をお招きします。この祭りは湯立神楽のひとつで、釜で沸かした湯を神々に献じ、同時に氏子や見物人にもふりかけて、新しい年に向けての魂を再生させるもの。聖なる清らかな世界です。

外国からは南米各地で演奏されているハーブの「アルパ」を中心にラテン音楽を楽しんでいただきます。今回は特にアルパが国民的楽器となっている国、パラグアイのアルパを紹介します。

演奏は世界的名手ルシア塩満さん。ケーナ、チャランゴ、ギターなどの演奏でロス・コンパニエーロスのみなさんも加わって、明るくさわやかなアルパの音色を楽しんでいただきます。

プログラムは名曲「カスカーダ(滝)」、おなじみの「コンドルは飛んで行く」「コーヒールンバ」他。

「ストロー笛のゆかいな世界」

7月1日(土) 13:00 14:00 15:00

7月2日(日) 11:00 13:00

楽器博物館地階展示室ステージ 入館者はどなたでも聞いていただけます。出演：神谷 徹

とにかくビックリ、感激、大笑い。あのジュースを飲むためのごく普通のストローが、何と千変万化、驚くべき楽器になるのです。メロディー、ハーモニー、効果音もへっちゃら、そのうえ、音以外の仕掛けもたっぷりあって、ああこれこそ人類の知恵の結晶、楽器の原点ではないのか、と感じ入ってしまいます。

名手神谷徹さんの名(迷?)演奏をお楽しみに。



楽器博物館 5年の歩み その1 ～準備から開館まで～

アクトシティ浜松に楽器博物館を設置することが決定されたのが平成4年の2月。同年3月にはヨーロッパ部門における展示楽器の中核となるローゼンバウム・ファミリーコレクション450点余が浜松市に到着し、いよいよ本格的な楽器博物館開設の準備が始まりました。

ローゼンバウム・ファミリーコレクションは、アメリカ、ニューヨークに住むローゼンバウム家所蔵のコレクションで、個人コレクションとしては質量ともに今世紀最大の西洋楽器コレクションのひとつです。

一家の主であるロバート・ローゼンバウム博士が亡くなったあと、ご家族がその膨大なコレクションの有効な活用法を世界的規模で探していたところ、浜松市が政策として進めていた音楽のまちづくり構想のひとつである楽器博物館開設計画と合致し、そのコレクションを市が購入することとなりました。

楽器の保管と整理調査は蛸塚にある浜松市博物館が担当し、平成4年10月には特別展「ローゼンバウム・ファミリーコレクション展」を開催して、この世界的な文化遺産を市民に公開しました。

平成6年10月にアクトシティが14街区（現在

楽器博物館のある建物）を除いてオープン。その記念展覧会として「アクトシティオープン記念古楽器展」を開催しました。

翌年4月、14街区は楽器博物館、産業情報室、研修交流センターとして8日に落成、9日より一般公開ならびに利用が始まりました。

我が国初の、世界の楽器を収集ならびに展示対象とする、公立楽器博物館が誕生したのです。

常設展のほか特別展2回、レクチャーコンサート7回、講座7回、見学会・体験学習2回を開催。県内に伝わる花の舞などの調査記録も開始。市民のための博物館がようやくヨチヨチと歩き始めました。

日本中から注目され、初年度の入館者は133,063人。驚異的な記録を樹立しました。

活動の詳細については次号から紹介します。



アクトシティオープン記念古楽器展(平成7.10.8~18)

学校と楽器博物館のかけ橋

移動楽器博物館

「わくわく楽器ランド」始まる!

浜松市内の小学校を巡回する移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」(浜松市楽器博物館、浜松市アクトシティ音楽院共同事業)が本年度より始まり、その第一回が5月31日から6月3日まで浜松市立笠井小学校で開催されました。

「わくわく楽器ランド」は、世界の様々な楽器に触れることで、楽器を身近なものと感じ、国際理解への関心を深めることを目的として企画されました。

展示は、「みる」と「さわる」のコーナーにわかれています。

「みる」では、サウンガウ(ミャンマー)、アフリカのハーブなどをはじめとする世界のめずらしい楽器約20点を展示して、子供たちがそれぞれの楽器の共通点をさがしたり、なぜそのような共通点があるのかを考えたりできるコーナーになっています。

「さわる」では、日本から南アメリカまでの約25

点の体験できる楽器が設置されています。子供たちは楽器に触るときの「あいことば」を守ること、それぞれの楽器の特徴を見出しながら楽しく演奏体験をすることができます。

また、「さわる」のなかの「音と楽器のかがかん」のコーナーでは、縦波が伝わる様子がわかる模型をはじめ、体験道具を6点用意し、なかなか理解が難しい音や楽器のしくみを体感できるようにしました。笠井小学校でも、たくさんの児童が、親しみをこめて楽器に向かう姿がみられました。

平成12年度は、市内11校の小学校を巡回する予定です。



活動報告

特別展「メキシコ・グアテマラ楽器紀行」終わる

平成12年3月25日から5月7日まで、特別展「メキシコ・グアテマラ楽器紀行」が当館地下1階第3展示室で開催されました。この特別展では、平成10年度の現地調査時に収集した楽器資料を中心に、収録ビデオや写真、民族衣装等を交え楽器や音楽を紹介しました。

展示はメキシコ、グアテマラ、ラテンアメリカの3つのゾーンに分かれ、それぞれの地域を代表する楽器、ギター、マリンバ、サンポーニャなどが来館者の注目を集めていました。

また、特別展開催期間中に、関連講演会「中米音楽事情」(平成12年4月15日 講師/濱田滋郎: スペイン・中南米音楽研究家)や関連講座「メキシコ民俗舞踊」(平成12年5月5日 出演者/山崎



ギジェルミーナ、MIYUKI、Sol de Mexico)を開催し、日本では目にする機会が少ないメキシコやグアテマラの民俗音楽を紹介しました。

もうすぐ活動 楽器博物館ボランティア

楽器博物館では3カ年の調査・試行を終え、本年度より楽器博物館ボランティア活動を実施します。これは、市民が自分の能力や資質を生かす場として、楽器博物館がその場所と分野を提供するもので、来館者への展示案内サービスや資料の整理など、楽器博物館が用意することができる分野でボランティア活動をしていただく制度です。

6月15日で募集は終了し、登録された皆さんには現在基礎研修を受けていただいています。博物館展示室で活動している姿は7月後半から見られる予定です。

◆博物館日誌

- 3/25～5/7
第7回特別展「メキシコ・グアテマラ楽器紀行」
4/2.9.16.23.30
展示室ガイドツアー
4/15 特別展講演会「中米音楽事情」
講師: 濱田滋郎(スペイン・中南米音楽研究家)
14:00 研修交流センター
4/16 ミュージアムサロン「南米の楽器アルパ」
講師: 長島忠之(アルパ奏者)
5/1～12/28
開館5周年記念写真展
「浜松市楽器博物館のあゆみ」
5/5 特別展ミニコンサート「メキシコ民俗舞踊」
出演: 山崎ギジェルミーナ(メキシコ民俗舞踊家)ほか
11:00 14:00 楽器博物館地階展示室ステージ
5/7.14.21.28
展示室ガイドツアー
5/21 ミュージアムサロン「体験教室アンクルンをひこう」
講師: 嶋和彦(当館学芸員)
6/4.11.18.25
展示室ガイドツアー
6/18 ミュージアムサロン「ギターミニコンサート」
講師: 佐藤剛(当館学芸員)

◆今後の催し物

- 展示室ガイドツアー
7/2.9.16.23.30 8/6.13.20.27 9/3.10.17.24
各日とも11:00と14:00、展示品の解説
ミュージアムサロン
7/16「体験教室アンクルンをひこう」
8/20「アルパ・ミニコンサート」 9/17未定
各日とも11:00と14:00、楽器ワンポイントミニ講座
展示品の演奏
毎日 10:00～16:00の間で1時間毎、
展示品の演奏デモンストレーション
市制89周年・楽器博物館開館5周年記念ミュージアムコンサート
「ストロー笛のゆかいな世界」 出演: 神谷徹
7/1 13:00、14:00、15:00 7/2 11:00、13:00
楽器博物館地階ステージ 入館者はどなたでもお聴きいただけます
「きよらかに、さわやかに」 出演: 愛知県北設楽郡東栄町河内花祭保存会
ルシア塩満とロス・コンパニエーロス
7/2 14:00 研修交流センター
大人1,000円・高校生以下500円
開館5周年記念特別展
「楽器誕生! ～日本の音の知恵と技～」
7/22(土)～8/27(日)
見学には特別展観覧料が必要です。

連続お楽しみ講座

- 展示解説 7/22, 8/12, 19, 26, 27
夏休みチャレンジ教室 7/23, 29, 8/5
ミュージアムサロン 7/30, 8/6, 13
実演 8/20

◆2月～4月の観覧者数

	2月	3月	4月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	3,871	5,261	3,203	12,335	359,018
中人	92	818	190	1,100	12,864
小人	729	1,436	680	2,845	80,471
幼児	276	971	212	1,459	20,311
計	4,968	8,486	4,285	17,739	472,664

利 用 案 内

開館時間: 火曜日～日曜日 午前9:30～午後5:00
休館日: 月曜日(祝日にあたる時は開館)、祝日の翌日、年末年始、
館内整理日(7/19、9/6、10/25、11/29、12/6、20、1/31、2/28、3/28)
常設展観覧料: 個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
小人(小・中学生) 100円 80円 60円
※館内には、お手荷物の持ち込みはできません。

浜松市楽器博物館だより

平成12年6月30日発行

No.20

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

T E L . 053-451-1128

F A X . 053-451-1129

URL: <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gakki/>

gaku@gakki.city.hamamatsu.shizuoka.jp

印刷 株式会社シバプリント